

女川中学校

令和元年十一月の気持ちから

【一年】

ありがとう 感謝あふれる 心かな
六時半 起きるのつらい 月曜日
白い息 ぶわっととける 冬の空
星友よ 共に歩もう 未来へと
なんとなく 夜空を見たら 星の海
枯れ木にね 白い花がさ 舞ってくる
自動車の 走る枯れ木は 追いかける
教室の 制服なびく 秋の風
雪ふらぬ 寒さ風ふく 冬休み
脳みそが ひめいをあげる テスト中
どん底は 逆転への とおり道
クリスマス 今年の冬も クリぼっち
この星が いつまでもつか わからない
クリスマス クリぼっちなんで 言わせない
太陽が これからの道を 照らしている
寒い中 白い息が もくもくと
新しい 出会いと別れ くりかえす
きらきらと 月の光で 雪結晶
テストの点 忘れたいけど 忘れられない
テスト中 問題配られ あつまじか
テスト期間 フリーズする程 勉強だ
私達 追われています 期末テストに
ほら見てよ 夜空に浮かぶ 私の匂

【二年】

部活中 一つのわざを 強くする
先輩の 背中追いかけて ホルンやる
トマトマト トメイトウトマト トマトット
この俳句 宇宙に行くの 夢みたい
人生の レール引くのは 自分だけ
挑戦は 自分が作る 高い壁
世の中は 未来に進む 設計図
体育館 まにあわないと 10セット
部活動 技術高める 冬の時期
赤点を かひひしたのに おこる母
さあ言おう 発声練習 ギイザイザイ
部活動 スリーポイント 完璧に
誕生日 鏡を見ると ふけている
サンタさん 寝ないで待つと 親が来る
寒い日は つつまれたいな ぬくもりに
冬になり 急に彼女が ほしくなる
Miss me お前らじゃ足りない おどる floor
間違った 目立ち方だけは したくない
葉の変化 赤や黄色と 秋の色
十二月 振り出しに戻った クリスマス
白い息 季節の変わりを 思わせる
クリスマス 一年に一度の ごほうびだ
今日も今日 全てに感謝し いただきます
テスト後も 冬の空も くもりよう
お年玉 目標金額 十万円
恋愛を しないんじゃない できないんだ
七人で 一つの音楽 創りたい

【三年】

県を超え つながる詩に ありがとう
おれのへや だけカメムシが すんでいる
たくさんの 思い出をつづった この校舎
女川に 毎日来られるの あと少し
3のー のこりの時間を たのしむぞ
あと少し 変わってしまう この生活
何気ない 日常もあと もう少し
寒いのに アイス欲しがる 妹よ
勉強中 気づけば手の上 スマートフォン
もう少し 卒業しても 会いたいな
何事も 努力した分 返ってくる
ふと天井 見上げてみれば カメムシだ
最後には 笑って終わろう このクラス
忘れない 忘れたくない あの仲間
辛い日々 乗り越えてこそ 成長だ
アルバムを 見返すだけで 切ないな
あの笑顔 忘れられない 一枚だ
家帰り 気持ち切り換え 勉強か…
いつメンで 青いベンチよ 下校途中
サンタさん いい子にするので 頼みます
クリスマス 今年もひとりですごそうか
難しい 自画像ぐちゃぐちゃ SOS
冬が来た ふとんは味方 親は敵
もう少し みんなと離れるの まじで無理
この学年 楽しんでいたい もう少し
戻りたい 三年間って とても早い
毎日の 楽しい時間が 過ぎていく

受験が不安 心がゆらゆら 落ち葉のように
去りし時 涙流す友 藍二乗
夕風の 赤い空見て 雨晴るる
あと少し みんなと過ごす 楽しい時間
桜咲く 登校するのは 高校だ
担任の 髪はとても 入り組んでる
この歳にして 昔の話で 盛り上がる
ありがとう 幸せすぎた 3年間
三小さん 女川知って ありがとう！
君の影 探して迷う 帰り道
卒業だ 泣き笑いありの 良い思い出
友達と 大事にすごす 3カ月
3年間 あつというまに すぎていく
あと少し 中学校生活 たのしもう
仲間たちと そろってやりたい 卒業式
先生達 3年間 お世話になりました
俺の夢 遊漁船の 船頭だ！
順位高い と思ったら 点数だ
修学旅行 何度もどりたいと 思ったか
Parents 勉強勉強 うるさいな
先生の こんしんのダジャレ 苦笑い